

## 第2学年 道徳指導案

第 時2年 組教室

指導者

- 1 主 題 せいりせいとんをしよう 1 - ( 1 ) 節度・節制, 自立
- 2 資料名 「ひきだしの中」(出典 県振「明るい心」)
- 3 主題設定の理由

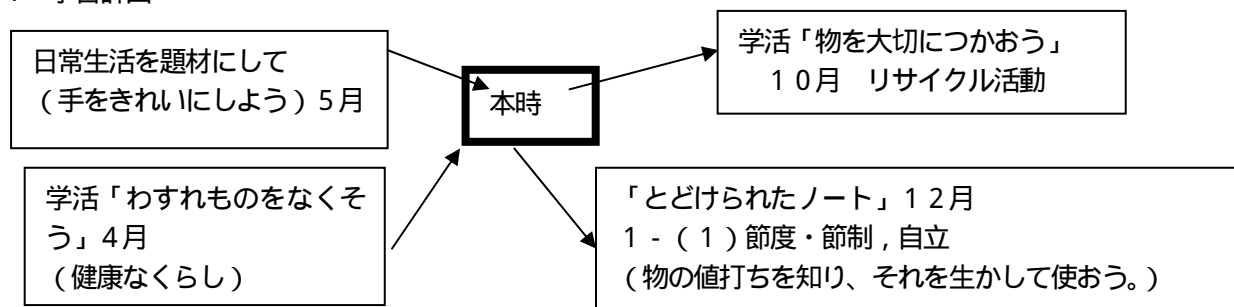
この学級を担任して2ヶ月がたった。子どもらは活発で、行動的である。自分の思ったことが発言できる。しかし、身の回りの整とんができず、乱雑になっていても平気な子が5～6人いる。服や、ハンカチ、タオル、鉛筆、そして、消しゴムなど、ありとあらゆるものが落ちていることになる。自分の大切なもの、必要なものという意識がうすいのだろうか。それは、子どもらにとって大切なものなのだろうか。それともどうでも良いものなのだろうか。何かのはずみでカバンから落下し、机の上から落ち、落とし物となってしまうのである。そして、それはそのまま放置されている。

子どもは物を大切にしようとする気持ちを持っていると思う。ひとりひとりの子どもが持つ「物を大切にしよう」とする心から、これらの「落とし物」について考えさせ、物を大切にしようとする気持ちを育てたいと考える。「ひきだしの中」という、普段子どもらの生活にあるような事例を読み、身近な例を出し合っ、物と自分とについて考えさせたい。その時、「君、いつも物を落としているよ。」と個人への指摘が必ず出るであろう。そして、「君もだよ。」「君もだよ。」と、お互いが整とんできていな事例がいくつも出ることが予想される。

ひとりひとりが大切にしているものがあり、それぞれの違いに気づくとともに、それとの関連で、物を大切にしようとする気持ちについて、具体的に考えさせたい。そうすることによって、互いを認め合うとともに、物を大切にすることの意味について考えさせることができると思う。そのために、「ひきだしの中」という資料を読み、身近な事例で補い、具体的に考えることで、ひとりひとりの物に対する考え方の違いや、だからこそ気を付けることがあることなど、物と自分という点からいろいろ出し合うことで豊かに考えさせたい。

人は、誰もが節度ある生活を送りたいと考えていると思う。しかし、それは育つものであり、育てられなくてはならない。子どもたちを取り巻く家庭生活や学校生活において、節度ある生活を送るためには、基本的な生活習慣が身につく、自制心が培われる必要がある。物の管理が正しく行われることは、自立への大きな要因となる。しかし、生活がその場しのぎであったり、欲望や周りの誘惑に負けたりして、安易な方向へ妥協してしまうこともある。これは、大人や現代社会の影響を大きく受けている事柄であり、それぞれの子どもの背後にある家庭や生活気風も出されると思うが、物について真剣に考え合うことで、この問題に子どもらしい観点からせまることができると思う。物を正しく管理して、上手に使おうとする意識が育つには、ねばり強い努力が必要なことでもある。「うまく整とんできない。」「物をなくしてしまった。」などは、誰もが経験している出来事である。児童の気持ちを十分出させ、話し合うことで、「難しいけどやってみよう。」という気持ちに到達させたいと思う。

### 4 学習計画



### 5 本時の学習

#### (1) ねらい

- ・ 資料を読み話し合うことによって、せいりせいとんをしようとする気持ちを育てる。

#### (2) 準備

- ・ 教師.....場面の絵、落とし物
- 児童.....吹き出しプリント

(3) 展 開

学 習 活 動	指導上の留意点・支援 評価
<p><b>1 資料(役割演技)を読む。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">つくえのまわりは、ぐちゃぐちゃだ。どうしようか。</div> <p><b>2 男の子の気持ちを考えさせる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つくえの中も外もぐちゃぐちゃだよ。</li> <li>・ほんとうにきたないねえ。</li> <li>・ぼくも、そんなことした時があるよ。</li> <li>・君、いつもきたないよ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「つくえのまわりに落とされたものは、どんな気持ちだったのかな。」</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと、私たちが大事にしてほしいよ。</li> <li>・片づけないのは、いけないことだよ。</li> <li>・どうして、片づけができないのかな。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">いやだあ。めんどくさいもん。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">すぐ、ぐちゃぐちゃになっちゃう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">できる子で、注意をしてあげる。</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものをすてているんだよ。もったいないよ。</li> <li>・でも、よく紙がおちているよ。</li> <li>・だれかが、おとすんだ。気を付ければいい。</li> <li>・きまりをつくれればいいと思います。</li> <li>・でも、いつも落としているのは同じ子だよ。</li> <li>・そうすると、その子が気を付けられればいいのかな。</li> <li>・他の子でも、ついやってしまう人がいると思う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">きまりを作るがいいのかな。それとも、自分で気をつけるのがいいのかな。どうしたら、よくできるようになるのかな。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりをつくるのがいいと思います。</li> <li>・きまりよりも、自分で気をつける方がいいと思います。</li> <li>・ぼくは、どちらもやればいいと思います。</li> <li>・でも、やっぱり自分で気をつけることだと思うな。</li> </ul> <p><b>3、自分の生活を振り返る。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分は、こんなことに気をつけていることはありませんか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時々、気をつけてせいとんしています。</li> <li>・自分で決めたしまい方をすればいい。</li> <li>・ぼくは、使ったものは片づけるようにしています。</li> <li>・いらぬ物は、リサイクルの箱にいれるようにしているよ。</li> </ul> <p><b>4、教師の話聞く。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を読む。 つくえのまわりに落とされたものについて考えることができたか。(観察)</li> <li>・物をそまつにした時の様子をいろいろ思い出させる。 自分の気持ちを素直に出すことができたか。(表現)</li> <li>・物を捨てたり、片づけたりしないという行為について、素直な気持ちを発表させることにより資料への興味づけをさせる。</li> <li>・子どもらがどんなふう考えるか。 一人ひとりの発想を大切にしたい。 自分の考えを出すことができたか。(発言)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分がこまらないなら、そのままでもいいよ。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろ考えることができることに気づかせる。 きまりが自分の気持ちかで、自分の考えが発表できたか。 (観察)</li> <li>・ついやってしまうという人がいることについて、きまり作るのが大切かいろいろ考えさせる。</li> </ul> <p>意見を発表し、他の人と自分の考えの違いについて考えることができたか。(発言・観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「きまりでまもる」ということについて考えさせる。</li> <li>・事実をもとにいろいろ工夫できることを考えさせたい。</li> <li>・積極的な生活面を出し、参考にしたい。</li> <li>・教師の「たからもの」を見て、話を聞き、物を大切にすることの意味を考える。</li> </ul>

(4) 評 価

資料を読み、自分の体験を出し合い、身近な例を話し合うなかで、「せいとんしよう」という意識が高まったか。

本時の視点

「使ったものを片づける」という方法について、具体的に考えたり、話し合ったりしたことが、物を大事にし、物を大切にしようとする気持ちを高めるのに有効であったか。